

会計別内訳

会計名	予算額	伸率(%)
一般会計	464億 6,674万円	3.0
特別会計	国民健康保険事業	90億 4,432万円 △ 0.1
	(事業勘定)	(89億 6,683万円) △ 0.1
	(診療所費)	(7,749万円) △ 4.5
	駐車場事業	4,384万円 2.2
	介護保険事業	105億 8,844万円 0.7
	サービスエリア	871万円 9.3
	後期高齢者医療	15億 4,608万円 13.8
小計	212億 3,139万円 1.2	

会計名	予算額	伸率(%)
企業会計	病院事業	58億 8,414万円 △ 0.1
	水道事業	49億 9,542万円 △ 11.8
	下水道事業	41億 5,560万円 3.3
小計	150億 3,516万円 △ 3.5	
財産区特別会計	島ヶ原財産区	3,051万円 2.8
	大山田財産区	1,293万円 3.1
	小計	4,344万円 2.9
合計	827億 7,674万円 1.3	

※端数処理の関係で各科目と計が一致しないことがあります。

令和6年度

# 当初予算

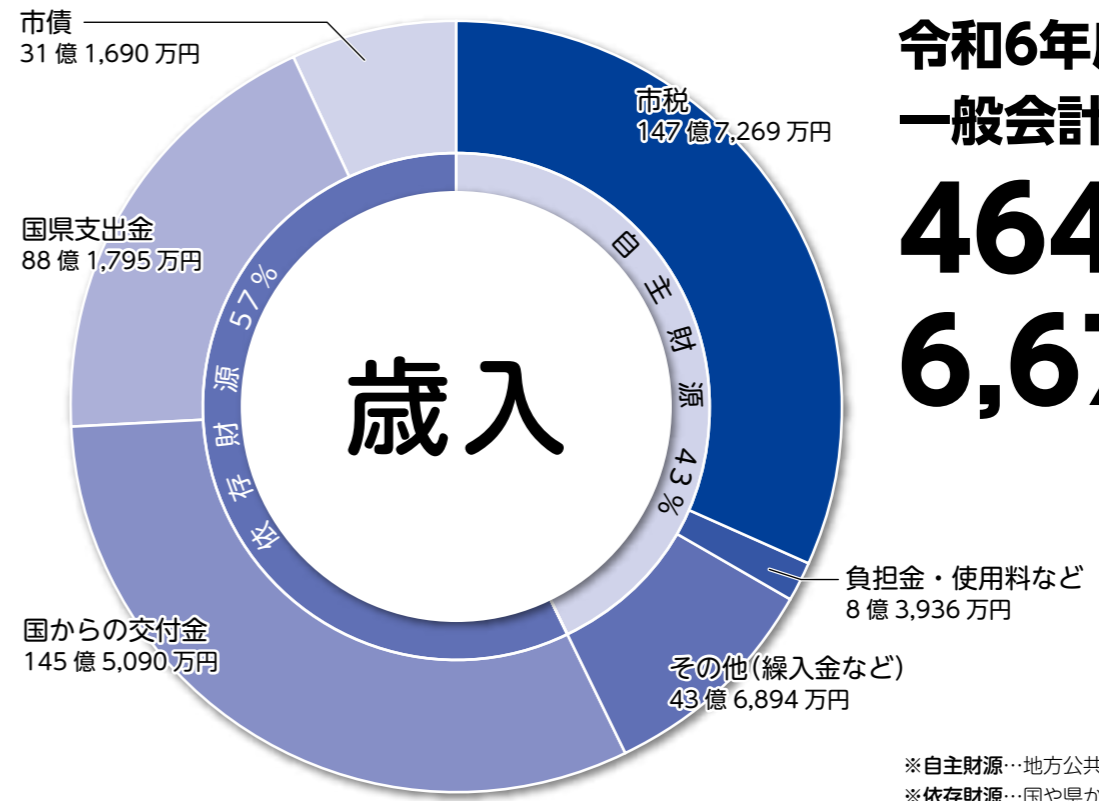
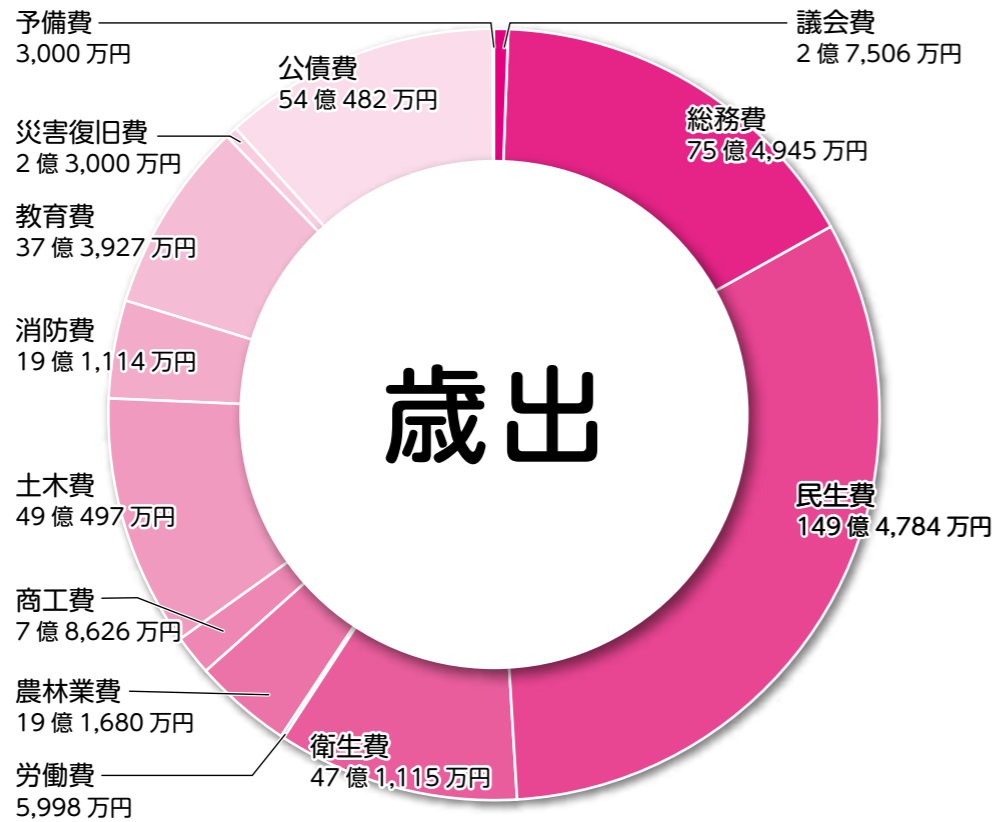
をお知らせします

## 「充実した“旅”（未来）へ。“昇”（躍進）予算」



子ども・子育て施策についてさらに充実させ、未来の市民への投資を進めます。加えて、市制20周年、芭蕉翁生誕380年にあたることから、さらなる一步を踏み出す節目の年度です。これらを踏まえ、“誇れる伊賀市”、“選ばれる伊賀市”の実現に向けた階段を着実に昇って行けるよう「充実した“旅”（未来）へ。“昇”（躍進）予算」を編成しました。総合計画に掲げる『ひとが輝く地域が輝く』伊賀市」を実現するため、引き続き「こども・暮らし・にぎわい」をテーマに、各種施策に取り組みます。

【問い合わせ】 財政課 ☎22-9608 FAX24-2440 ✉zaisei@city.iga.lg.jp



令和6年度の  
一般会計  
**464億  
6,674万円**

※自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源  
※依存財源…国や県からもらう交付金など

用語の解説

◆歳入の部  
〔市税〕 個人市民税、固定資産税、軽自動車税など、市民の皆さんに納めていただく税

〔負担金・使用料〕 市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

〔繰入金〕 基金の取り崩し金や他会計からの繰入金

〔国からの交付金〕 市の実情にあわせて国から交付される地方譲与税、地方交付税など

〔国県支出金〕 国や県からの負担金や補助金、委託金

〔市債〕 市が主に建設事業に充てる借金

◆歳出の部  
〔議会費〕 議員報酬や政務活動費など、市議会の運営にかかる経費

〔総務費〕 庁舎管理などの行政内部、地域振興、住民自治、人権啓発、防災関係などにかかる経費

〔衛生費〕 ごみ収集や乳幼児・高齢者などの予防接種、環境対策や清掃事業、健康推進などにかかる経費

〔労働費・農林業費・商工費〕 農業・商工業団体への助成や観光など、労働・産業にかかる経費

〔土木費・災害復旧費〕 道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設、災害により破損した道路などの復旧にかかる経費

〔消防費〕 消防、救急活動、防火水槽などの防災基盤整備、消防団本部の運営にかかる経費

〔教育費〕 市立の小中学校、幼稚園の管理運営、文化財の保全、スポーツ振興、青少年育成などにかかる経費

〔公債費〕 市が主に建設事業のために借り入れた市債の償還にかかる経費

〔予備費〕 地方自治法で設けることが定められており、他の科目で予算執行できない場合に支出する経費

# 「くらし」

- 医師確保をはじめ地域医療の充実、地域包括ケアの推進、買い物・通院などの移動を支援します。
- 一人ひとりが大切にされる社会の実現のため、人権・平和・男女平等・多文化共生・多様性を大切にします。

新斎苑整備運営事業	3億2,863万円
行政バス運行経費	1億3,182万円
伊賀鉄道活性化促進事業	1億2,403万円
常備消防施設等整備事業	1億1,228万円
救急医療事業	1億532万円
防災資機材整備推進事業	1,028万円
多文化共生推進事業	1,026万円
人権啓発推進事業	1,113万円



# 「にぎわい」

- 「日本の20世紀遺産20選」の伊賀上野城下町の文化的景観、農山村の自然環境、旧上野市庁舎の有効活用による観光戦略とにぎわいを創出します。
- 伊賀の可能性を生かした、農林業振興、移住定住、企業誘致、人材育成、雇用創出、新規起業、就農をさらに推進します。

旧上野市庁舎利活用事業	18億5,645万円
忍者市プロジェクト事業	2億3,281万円
観光振興管理経費	2,293万円
芭蕉翁顕彰事業	4,355万円
企業立地促進経費	6,976万円



# 「こども」

- 子育て世帯の負担軽減と家計の底上げ（食育と地産地消の推進、小中学校給食の無償化、幼稚園・保育所（園）等副食費の無償化）を行います。
- 子どもの個性を大切にする学力の保障、伊賀らしい郷土教育を推進します。

## 【主な新規事業】

- 公立・私立幼稚園及び保育所（園）、認定こども園、認可外保育所の**“副食費無償化”**
- 公立・私立保育所（園）の**“使用済み紙おむつ持ち帰り廃止”**



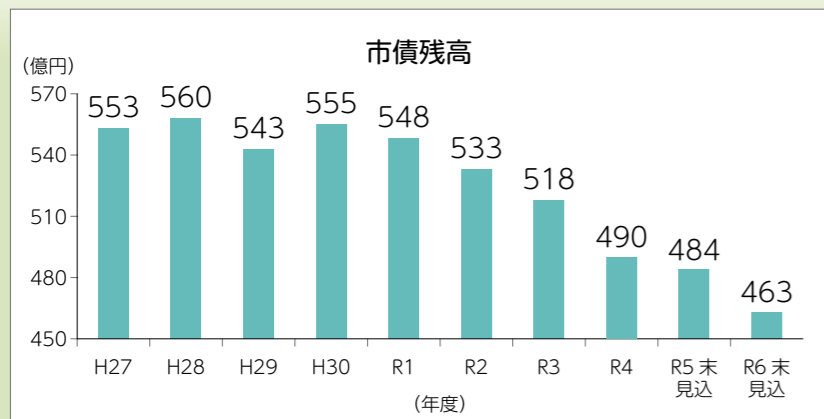
学校給食管理経費	1億5,484万円
給食センター管理運営経費	6億2,743万円
保育所管理運営事業	3億1,197万円
私立保育所等運営費	13億5,445万円
園管理経費	1,408万円
医療費助成経費	5億3,854万円

## こども家庭支援課の新設

保健師や社会福祉士など、専門職が個別にサポートできる体制を強化し、すべての妊産婦・子ども・子育て世帯への一体的な相談支援を行います。

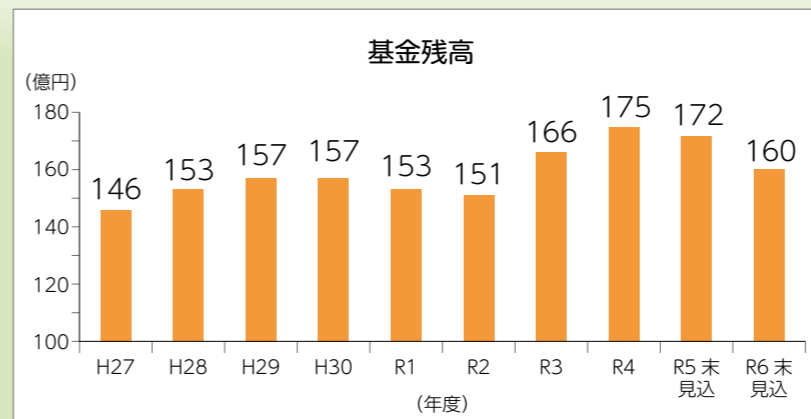


## 【市債】（市の借金）市民一人あたり約54万円



市の借金である市債の令和6年度末の残高予定額は、令和5年度に比べ約21億円の減額の約463億円の見込みです。

## 【基金】（市の貯金）市民一人あたり約19万円



市の貯金である基金は、各事業を行うにあたり、約25億3千万円を取り崩す予定です。また、財政調整基金や伊賀市ふるさと応援基金などへ約12億6千万円を積み立てるため、令和6年度末基金の残高は約160億円の見込みです。